

第37回

福井県特別支援学校教育研究大会

分科会

『一人一人が自分らしさを生かし、
主体的に取り組む姿を目指して』

～寄宿舎の自治会活動の取組～

福井南特別支援学校

寄宿舎

①

1 はじめに

(1) 学校教育目標

共生社会の形成に向けて、豊かな心とじょうぶな体を持ち、自立と社会参加に必要な知識と技能、態度を身に付けた生活力のある児童生徒を育成する。

(2) 平成27年度寄宿舎重点目標(スクールプラン)

主体的に行動でき、豊かに生活する力を育むために、生活する環境を整え、支援方法を工夫して取り組む。

2 テーマ設定について

自閉的傾向が強い舎生の在籍割合が多い



負担がないように行事内容の簡素化

役割など → ・舎生に応じた手立て
・練習を積み重ね

近年

自分の意見を言える舎生が増加傾向



指導員が舎生に意見を募っていく中で、舎生自身でやっていきたいという
気持ちが強くなる

昨年度より「舎生が主体的に自治会に参加する姿を目指して」

- ・指導員が一人一人の特性に応じた支援方法
- ・舎生の意見をうまく引き出すためのかわり方

失敗させない

成功体験

楽しい寄宿舎生活♪

3 主体的に活動する力を育むには

(1) 指導員の共通理解

「主体」とは

「自分なりの思いや考え、感情、価値観などを持つ
自分自身」のこと

「主体的」とは

「主体＝自分自身」が、自分らしく、考え、学び、育つ
ということ、その思いや育ちの結果として表れる態
度・姿勢」のこと

舎生が学ぶ過程を大事にする支援のあり方、
私たちのかかわり方はどうすればよいのか？

様々な状況の中で、舎生自身が、
どうするかを考えていけるようなかかわり、
その積み重ねが重要！

(2) 指導員の取組(その1)

- ① 元気100倍健康観察反省会、階会議、当番活動の項目ごとに舎生の様子や指導員のかかわり方、声かけで舎生がどのような反応を示したかについて記入した。
- ② 役員会の様子をビデオで撮影し、舎生の様子や指導員とのかかわり方、流れなどを記録した。
- ③ 指導員の研究会や階会(月1回)、引き継ぎ(毎日)などで、舎生の様子について指導員同士の意見交換、取組に関する進め方の見直しなどを行い、共通理解を図った。

(3) 自治会活動の活性化

① 自治会役員の構成

男子棟(1棟3階、2棟2・3階)

女子棟(1棟1・2階)



各代表を1～2名選出

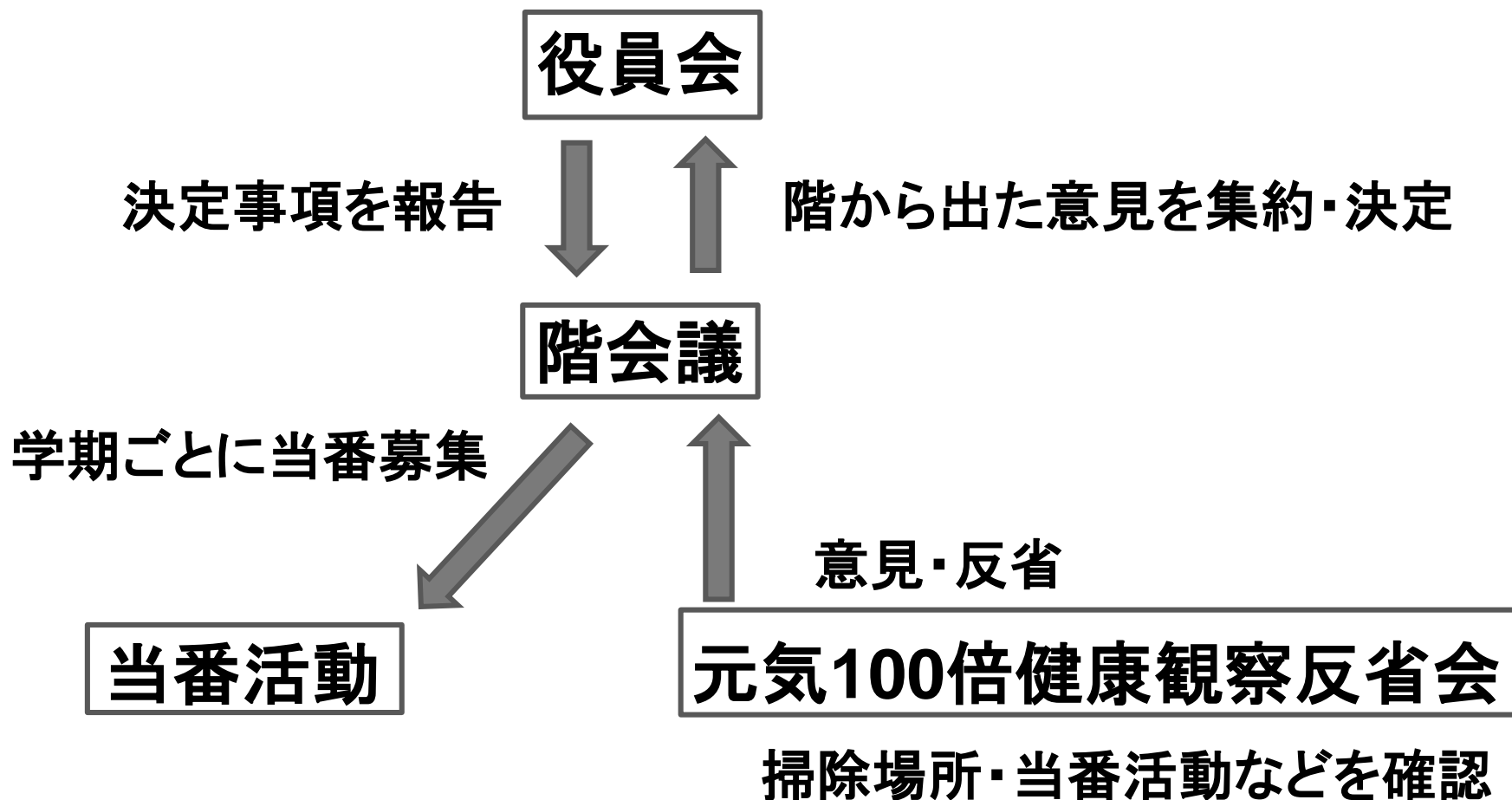
(今年度は各2名ずつの計10名)

階代表の中から会長、副会長、書記を各1名ずつ選出

※今年度より

選出されなかったメンバーは、サポーターとして
新たな活躍の場を設けている

②自治会における意見集約等の流れ



③自治会の主な活動

(ア)元気100倍健康観察反省会(毎日、朝夕食後)

健康観察

確認事項など

※この時間を利用して、指導員が生活・保健指導を行うことがある。

(イ)当番活動

全体

放送・新聞配達

献立・おやつ記入

配膳 本の整理



各階

洗濯

掃除

水筒のお茶入れ

など



みんなで協力しながら生活

(ウ)階会議(毎月1~2回、週間で設定)

- ・目標(学期に1回)
- ・目標に対する階での取組
- ・取組の反省
- ・はっぴいタイムやシアター、わくわくディナーでの要望
- ・当番募集
- ・寄宿舎生活が楽しくなるようにあったらいいな、できたらいいなと思うこと
- ・寄宿舎生活で困っていること
- ・朝の音楽で聴きたい曲のリクエストなど



(エ)役員会(毎月1回)

階会議で出た意見を役員が持ち寄り、報告し、議題に沿って話し合う。

※早急に協議しなければいけない議題があれば、臨時で行う場合がある。

(4) その他の活動

①行事の実行委員の兼務

(ア)ひの寮祭り(9月)

- ・自治会コーナー企画、運営
- ・当日までの準備(ポスター、招待状、プログラム、ダンス選曲・振り付け、PR)
- ・当日の係(司会、出店の呼び込み、ダンスリーダー)

(イ)クリスマス会(12月)

- ・当日までの準備(ポスター、メッセージカード、プログラム作成)
- ・当日の係(司会、アトラクションお礼の言葉)

(ウ)その他

入寮祝い(4月) スペシャルショー(2月) 卒業生を祝う会(3月)など

②サポーターの活躍

(ア)はっぴいタイム(余暇の充実を図るための活動)

階会議で舎生からの要望をもとに何をするか決定し、企画・運営。



企画会議の様子



お茶会の様子(26年度3月)



サッカーの様子(27年度5月)



逃走中の様子(27年度7月)

サッカー(リーダー…)

すす かに
進め方(どんなことをするか)

じゅんび もの
準備する物

(サッカー)

(バスケット)

(バドミントン)

じゅんび もの
準備する物

き
気をつけること

(サッカー)

(バスケット)

(バドミントン)

き
気をつけること

きょうりく
協力してほしいこと

(サッカー)

(バスケット)

(バドミントン)

(イ) わくわくディナー(学期ごとに1回)

リクエストメニューを階会議で募集。舎生全員の投票でメニューを決定。
席替えやBGMなど、当日の内容を企画・運営。



様子



投票

(ウ) お楽しみおやつ会(学期ごとに1回)

舎生からの要望をもとにおやつのリクエストを聞き、企画・運営。

(5) 指導員の取組(その2)

① 指導員同士の意見交換

(ア) 階会(26年度6月)

『子どもたちが主体的に行動できるようになるために・・・』

- ・ 舎生と接する上で気を付けていること
- ・ 舎生が意見を言いやすい環境作りについて

(イ) 研究会(26年度8月)

- ・ 元気100倍健康観察反省会・当番活動・階会議について

舎生の様子

今後の課題と取組

- ・ 舎生が主体的に活動するための環境作りと指導員の意識作り

4 成果と今後の課題

①自治会活動の活性化

舎生が意見を出しやすいように

- ・指導員が舎生とのかかわり方を工夫
- ・行事や当番活動、話し合いの中での舎生の役割や進行を検討



日々の舎生の様子や変化などを指導員間で共有

支援、指導を統一



まだまだ指導員の手立てが必要な場面もあるが、いろいろな
場面で意見を言えるようになってきた

積み重ね＝経験

過程(プロセス)

ある日、元気100倍健康観察反省会の時間・・・

指導員：何かみんなに話したいことはないですか？

舎生：大きい音や声が苦手です特に食事の時間がつらい



解決策がないか、みんなで考える

- ・配膳の食事の放送で静かに食べるということ呼びかける
- ・食堂にポスターを貼る
- ・先生に注意してもらう
- ・耳栓をつける など



役員会

- ・配膳の食事の放送で声のボリュームに気をつけて食べましょうとみんなに呼びかける
- ・役員が大きい声を出す子に対して注意する

決定

②指導員へのアンケートより

(ア) 舎生の様子の中で、主体的に行動しているなと思ったことは？

(イ) 指導員が舎生とかかわる点で気付いたこと、自分で変わったと感じる点は？また、舎生とかかわる上で意識的に変えた点は？

待つ

我慢

見守る

選択肢を持てるような声かけ

考える時間を持つ

生活の一場面一場面 →

主体的に行動する
力を育む機会

③今後の課題

各階の舎生の状況

ある程度の指導員の手立て



舎生のみで
話し合いができる



指導員が中に入らないと
話し合いができない

階によって話し合いの進め方に違い

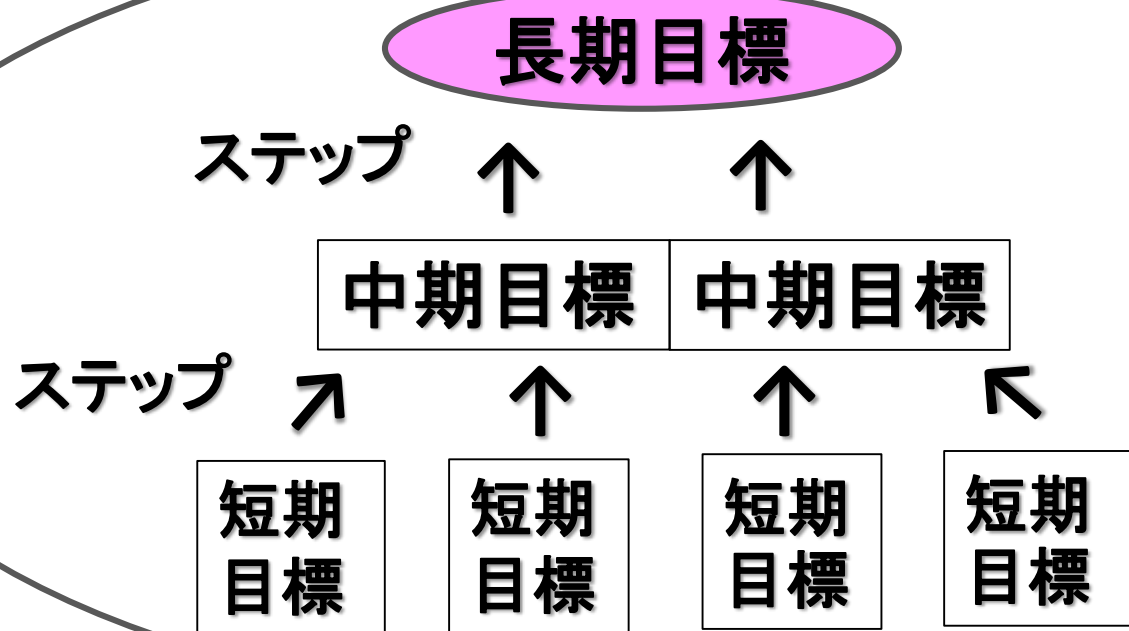
指導員同士の主体の捉え方

どこまで舎生とかかわりながら声かけすればいいのか……

主体的に行動できるようになるために・・・

- ・日々の生活の中での積み重ね、過程
- ・指導員間で考察、協議、共有

チャレンジ！



子どもの思いを共感的に理解する

子どもの内面を共感的に理解することから
子どもとの関係を築くことが必要である

子どもは感情や思いや欲求を受けとめてもらい、ことばで表してもらったり、肯定的にかかわってもらったりすることによって、その感情や思いや欲求を自覚したり、自分がしたいことは何なのかを明確にできるようになる。やがては自分がしたいことを実現するには、どのような方法がよいのか考えたり、我慢したり待ったりする力をつけていく。自分の思いを出しながら、他者の要求に衝突し、他者もまた思いを持つ主体であることに気づき、他者の思いも尊重しながら、自分の思いと折り合いをつけることを学ぶ。
(和歌山県教育委員会 教育相談室長 岡 洋一氏の言葉から)

子どもたちの 未来のために……

ご拝読ありがとうございました。